

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンクレイドル上牧 新築工事	階数	地上14F
建設地	高槻市神内二丁目	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	134 人
地域区分	6地域	年間使用時間	16,080 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年4月15日
敷地面積	1,721 m ²	作成者	中西
建築面積	331 m ²	確認日	2020年4月30日
延床面積	3,642 m ²	確認者	中本



係数

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>46 (kg-CO₂/年・m²)</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.7</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>良好な都市環境を形成し、緑地を確保し周辺環境に考慮した計画とした。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆の建築材料をほぼ使用した。 又は居室のサッシはT-2サッシを使用し外部からの騒音に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐久性、信頼性の高い設備機器を採用し、維持管理の容易性を高めた。 又は各戸、ベストエフォート1Gのインターネットを利用可能とした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>緑地帯を可能な限り配置し、地表面温度上昇を極力抑える計画とした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>主にLED照明を使用し、エネルギー使用の高効率化を図り、環境負荷の低下にも配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具の採用により、資源環境に配慮した。 又は有害物質を含む建材の使用を回避するよう配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>駐車場・駐輪場を十分な台数を確保し、周辺交通負荷抑制については配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R02-0028

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)サンクレイドル上牧 新築工事					
		建設地	高槻市神内二丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					5		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					4		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.5	5	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.7	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								